

# 役員紹介

## 市ケ尾第1支部 森 一誠 支部長



市ケ尾第1支部の新支部長に就任された(有)宮地の森 一誠さんの会社は田園都市線の市ケ尾駅から徒歩で15分ほど、緑法人会事務局を通り過ぎてすぐのところ、車や呉服店の隣にあります。

森さんは、「あまり宣伝もしませんので、口コミのお客様が多く、そういったお客様を大切にすることを、当店のモットーとしています。」と話されていました。

会社の創立は昭和46年で、当初は賃貸業が主でした

が、現在は家具小売にも専念されているそうです。

森さんは、奉仕活動などにも進んで積極的に参加や行動をされているとのこと。

法人会についてお聞きすると、「法人会の支部幹事歴は8年です。どこへいっても、会員増強が一番の目標だと思います。微力ながら、法人会を理解して頂くよう、お願いし、イベント開催なども念頭におき、活動したいと思います。」と、会員増強にむけて力強い口調で抱負を語っていらっしゃいました。

(広報 長根記)

## 中川第2支部 小泉 光秋 支部長



台風一過の9月19日、中川第2支部の小泉光秋支部長を訪問いたしました。支部長職は本年5月から就任されており、

ご商売は、お布団を中心としたカーテン・インテリア小物の小売販売のお店を運営されています。でも、

実情は2代目の若い息子さんの感性・現代的な経営方針を尊重し、バックアップすることに徹しているとのことでした。会社設立は昭和56年。おじい様の菊五郎さんという名前から“菊屋”という店名でスタートされたそうです。

専門店の生きる道は、いいものを作り、適切なメンテナンスを行い、お客さまに満足感と夢を与えることを信条とされています。

また、現代的な経営の一つとして、英語版ホームページを開き、海外からの注文を受け、仕事への夢を前向きに現実へ実現されていることを実感いたしました。

趣味は、店の飾り付け。お酒、たばこ、賭け事は、一切やらない。お伺いした当日も、支部長の飾り付けが店いっぱい施されていました。

息子さんを信頼して任せ、大きな心で見守っていらっしゃる様子が、とても頼もしく感じました。

(広報 池田記)

## 女性部会 舟木 靖子 部会長



今年4月の役員改選で女性部会3代目部会長に就任された舟木靖子さんを、緑区鴨居町の閑静な住宅地にある事務所に訪ねました。舟木さんは4人の子宝に恵まれ、末の娘さんが中学に入学したのを機に子育てから一応手が離れたと言う事もあって、「自

分で仕事を持ちたい」夢を実現させました。

昭和63年に仕事を始め、翌年の平成元年5月に法人として(有)舟木コーポレーションを設立。設立当時の思い出話を聞かせていただきました。舟木さんは唯、勤めに出るのではなく、自分で出来る仕事を持つ事を夢として、色々模索した結果、主婦も勤めに出るご時世、家が空っぽになるという所に着眼し、主婦でも出来るお掃除にビジネスチャンスがあると思った。友人に相談、紹介された宇都宮市で同じ考えを持った、すでに仕事をしている人に出逢えたと言う。そこでフランチャイズのミニメイドを知り、本部を紹介され、面接となる。素人の主婦が長続きはしないだろうと期待はされていなかったとのこと。指導に従いマニュアル通りに忠実に仕事をして、一年一年確実に実績を伸ばし、本部に認めてもらえた。何もわからなかった事が

逆に良かったとのこと。積る話や仕事のノウハウなどを聞かせていただいている合間に、お手伝いをしていけると言う、ステキに成長なさった、あの末娘さんに、お茶を入れていただきました。4人から始めた会社も、13年たった今では、3店舗と35人の女性スタッフを抱える程に成長し頑張っておられます。仕事をしていく上でのモットーに、「誠実、正直、素直」を取入れ、第一にお客様との信頼関係を大切に、女性ばかりのスタッフを上手に執り成しながら、リーダーシップを発揮され、真面目な仕事振りには、感服致しました。そこで女性部会長としての抱負をお聞きました。「我を張らず、見栄を張らず、聞く耳を持ち、サポートをする側には、個々の分野で、要所要所を固めてくれたらいいと、又、年中行事を無事にこなし、異業種の皆さんと忌憚なく、付きあっていけたら」と話して下さいました。一つ一つしっかりした口調で話される舟木さんの言葉には、心があり、深みのある存在感が伝わって来ました。そして仕事同様一步一步素直に取り組む姿勢が伺われ、何事にもギブアップしない限り、道は必ず開けると信じ、失敗を恐れずに挑戦を続けておられるという生き方に感銘しました。

(広報 藤田記)